

「心配」が絶えません

アンケートなどにみる

今どき海老名の子育て事情

核家族化・少子化が進む中、子育ての経験がなく、周囲に相談する相手がいなかったり、子育ての経験が乏しく、周囲に相談する相手がいなかったり、子育ての経験が乏しく、周囲に相談する相手がいなかったり...

必要とされる 精神的な支え

少ない「育児に自信」

この調査は、今年4月にスタートした「海老名市児童育成計画(母子保健計画)」の策定基礎資料とするため実施したものです。対象は、乳幼児健康診査・育児相談などの母子保健事業に来所した人、育児サークルに参加している人、子どもを市内公立保育園に通わせている保護者など1477人です。

「育児に自信がない」と答えた人は、乳幼児は68.9%、幼児は88.9%と高いです。また、「育児に自信がない」と答えた人は、乳幼児は68.9%、幼児は88.9%と高いです。また、「育児に自信がない」と答えた人は、乳幼児は68.9%、幼児は88.9%と高いです。

気掛かりな生活習慣

その反面、少数ですが、相談相手がいらないので解消できない」と答えた人も2.2%いました。

乳児・幼児とも「安全・安心」して暮らせるまちづくり「育児支援」(保育サービス、医療費助成など)の充実「児童館や子ども遊び場」の充実「道路や歩道の整備」等、保健福祉の分野だけでなく、多方面にわたる多くの要望が聞かれました。



情報交換できる場づくり

このアンケート結果を参考に作成した「海老名市児童育成計画(母子保健計画)」を基に、今後も保護者が育てる力を高め、子ども自身も育つ力を高めるために、地域で育児を支援する体制づくりを進めていきます。

わが子の健康 発育・しつけ

待ち時間も安心！保育士が遊び相手



保健相談センターが行っている1歳6カ月児健康診査は、今年から保育士が昔ながらの手遊びや手作りおもちゃの紹介をするコーナーを設けました。子どもが飽きずに「兄(上)の子」を連れてきたので、保育士と一緒に遊んでもらい、とてもスムーズに健康診査が受けられた。参加したほとんどの人が「よかった」と感想を話しています。

子育て支援 センターへ相談を!

子の成長(7カ月) 変化する悩み

保健相談センターでは、全体で年間3000件にも及ぶ育児に関する各種相談を受け付けています。主に子どもの健康について、次のような悩みが寄せられています。

「ささいなことでも気軽に相談を」と子育てアドバイザー＝子育て支援センター

13年度行政改革の成果まとめ

3億5900万円節減

市では経費削減と市民サービスの向上を目指して行政改革を進めていますが、この度平成13年度の行政改革の効果をまとめましたのでお知らせします。

68項目を改革

現在の行政改革は「海老名市第三次行政改革大綱(12/14年度)」の推進計画に基づいて実施しています。

行革の特徴

13年度の行政改革の特徴として、職員削減の効果があったものとして、職員の削減などによる人件費で約1億1000万円、公共工事の計画や設計の見直しによるコスト削減で約1億7000万円、補助金の廃止・削減で約1億6000万円などを削減しました。

「行政評価」取り組み開始

サービスの「目的」「成果」をより重視

市では、今年度から行政評価取り組みを始めました。行政評価とは、市が行う行政活動について点検・評価を行うことで、行政活動全体を改善・改革すると同時に、市民のみならず、市民への説明責任を果たすことを目的に、近年、国をはじめ全国の自治体で導入が進められてきている手法です。

市では、「行政評価」を行政改革推進のための1方法と位置づけ、平成12年度から導入に向け検討してきました。そして今年3月に「海老名市行政評価導入プラン」を策定し、今年度から5年間にわたり独自の行政評価システムを構築することになりました。

行政評価は、全国的にも試行錯誤の段階ですが、市としては導入の必要性を強く認識しており、制度の一部を見直しながら全体を作り上げていく方法をとる事になりました。

Table with 2 columns: 課等名 (Department Name) and 事務事業の名称 (Service Name). Lists various administrative services and departments.

問

保健相談センター 子育て支援センター 電話 235・7880 233・6161

行政評価は、15年度から実施されます。